

校長室だより(No.42)

令和4年1月28日
丹波市立黒井小学校長
谷口 千尋

令和4年度に入学されるみなさんへ

令和4年度の黒井小学校は、27名の新入生を迎えてのスタートとなる予定です。来月には、4月に入学を控えている新入生の保護者の皆さまに来校いただき入学にかかる説明をする予定です。このような時期ですので感染対策を厳重にし、短時間でやりたいと思います。説明会の最初に次の3つのことをお願いしたいと考えています。

●命の大切さ

新型コロナウイルス感染症が流行して2年が経過しました。収束は見えませんが生活では、閉塞感を感じることも多くあります。しかしながら、100年に一度といわれますこの状況の中であるからこそ私たちは考えなくてはならないことがあると思います。この2年、医療現場の方々をはじめ国民全体で守ろうとしているものは、「命」であると考えます。自分の命、友だちの命の大切さを今一度ご家庭でお話しいただければと思います。

●●学校は楽しいところ

子どもたちは、小学校への入学を控え入学できる「喜び」とこれまでの認定こども園などとの生活環境が大きく変わることに対する「不安」が入り混じった状態です。よく言う期待と不安でしょうか。私たちは、「もう1年生なんだから、いつまでもそんなことを…」「こんなことでは、小学校にいけないよ…」などという言葉で、子どもたちを励まそうと、ついつい言うてしまうこともあると思います。

しかし、これらの言葉は子どもの小学校や小学校の生活に対するマイナスイメージをつくってしまいがちであるといわれます。「1年生になったら、友だちがいっぱいできるよ。」とか「算数の勉強は楽しいよ。」「タブレットパソコンがあるよ。」というように明るく、楽しく、夢と希望をもたせてあげるような「プラスの言葉かけ」が大切だと考えます。他にも、「小学校は、運動場が広くていろいろなことをして遊べるよ。」「音楽や図工などいろいろな楽しいお勉強があって楽しみだね。」などの楽しい話題で早く小学校へ行きたい、いろいろな勉強がしたいという気持ち(期待)をふくらませていただきたいと思います。

●●●安全で安心して通える学校に

子どもたちが安心して通える学校にすることは、学校の基本ですが、交通事故に限って言えば、歩行中の交通事故は、平成28年から令和2年の統計で、死者・重傷者が708件と他の学年と比べて新入生が際立って多くなっています。(6年生の約3.7倍)

・下校中や遊び(遊戯、訪問)のために外出時・時間帯は、午後3時と4時台・歩行中の死者や重傷者の約4割は飛出しが原因となっています。

様々なことが原因として考えられますが、この年代の児童は、視野が大人と比べてまだ狭く、身長も低いので遠くまで見渡せません。あわせて、興味や関心のあるものに衝動的に動いてしまうことが多いことも大きな原因です。ドライバーからすれば、小さくて見えにくいうえに、他の学年と違った時間帯に下校していたり、行動が読めなかったりすることもあるようです。学校でも十分に指導をしていますが、家庭においても交通量の多い道路や踏切、河川等のあるこの校区の特徴を考慮したうえで、指導いただきたいと思います。